

以下のように、平成 30 年度の新専門医制度に対応した、精神科専攻医を募集いたします。ご質問やお問い合わせがございましたら、下記のアドレス

E-mail : [seishin@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:seishin@cc.okayama-u.ac.jp) にお気軽にお問い合わせください。

## 岡山大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

■ プログラム担当者 教授： 山田 了士

■ 専攻医の募集人数： 10 人（平成 30 年度）

■ 専攻医の募集時期：

★一次募集：2017 年 10 月 1 日～10 月 31 日必着

採用試験：個別に日程調整の上、行います

★二次募集：2017 年 12 月 16 日～2017 年 12 月 28 日必着

採用試験：個別に日程調整の上、行います

■ 応募方法：

メールアドレスを必ず記載した履歴書を下記宛先に郵送してください。

試験の日程調整は下記メールより行います。

宛先：〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2 丁目 5 番地 1 号

岡山大学病院 精神科神経科

TEL : 086-235-7242

FAX : 086-235-7246

担当者 : 川田 清宏

E-mail : [seishin@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:seishin@cc.okayama-u.ac.jp)

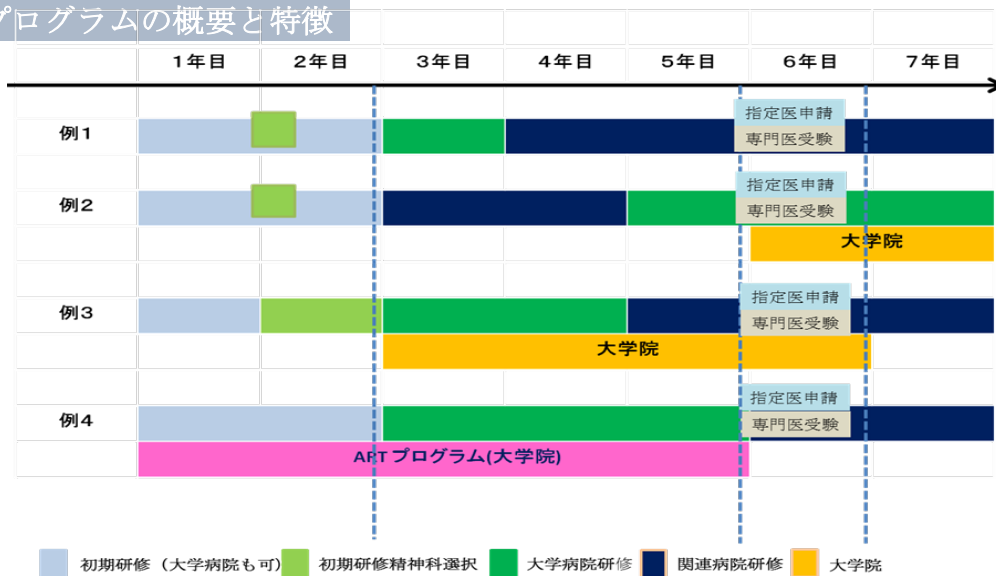
■ 採用判定方法 :

科長・医局長が履歴書記載内容と面接試験に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

## 1、教室の特徴

岡山大学病院精神神経科は、昨年（2015年）が開講120年という、長い歴史と伝統を持っています。精神疾患も患者さんの持つ問題も、非常に多様ですが、それに対応するためには精神科医療もまた多様である必要があります。私たちの教室では、様々な専門領域の医師が高いレベルで診療と研究に携わっています。教室出身の教授も日本全国に数々おられますが、460名を超える同門の精神科医の方々が多方面で活躍され、各領域での日本初の専門病院・施設・取り組みも珍しくありません。同門の先生方が有する専門医資格も日本精神神経学会はもとより、臨床精神薬理学、老年精神医学、一般病院連携精神医学（リエゾン）など各専門医が多数おり、日本神経学会の神経内科専門医も同門には30名以上いるなど、これまた多彩です。私たちの教室で研修をしていただくということは、とりもなおさず、こうした多彩なお手本が常に身近にいるということであり、高いレベルの精神医療を行うためのコモンセンスとモラルが自然と身につくということだと思います。私たちと共に、患者さんが本当に良くなるということはどういうことなのかを探っていきませんか？

## 2、研修プログラムの概要と特徴



原則2年で各個人が希望する病院を回ります。上記の例のように、個人の希望を優先し、個別にプログラム作りを支援します。当院では初期研修医2年目の11か月間精神科を選択でき、経験した症例を精神保健指定医の症例とすることも可能です。入局せず大学病院で研修も可能です。

## 3、本施設における研修の特徴

医師だけでなく、コメディカルスタッフ、秘書、学生、皆が気持ちよく仕事、学問できる環境づくりに努めています。医局を訪れる方には、誰にでも温かく接するようにしています。

当院精神科神経科で経験できるおおまかな項目としては下記のようなものがあります。

- 1) 統合失調症、気分障害、認知症など主要精神疾患の診断治療  
(mECT, clozapine 治療を含む)

- 2) リエゾン精神医療、緩和ケアにおけるチーム医療
- 3) 器質性精神障害（自己免疫性脳炎診断を含む）、てんかんの診療
- 4) 性同一性障害の診療
- 5) 児童青年期の精神科診療

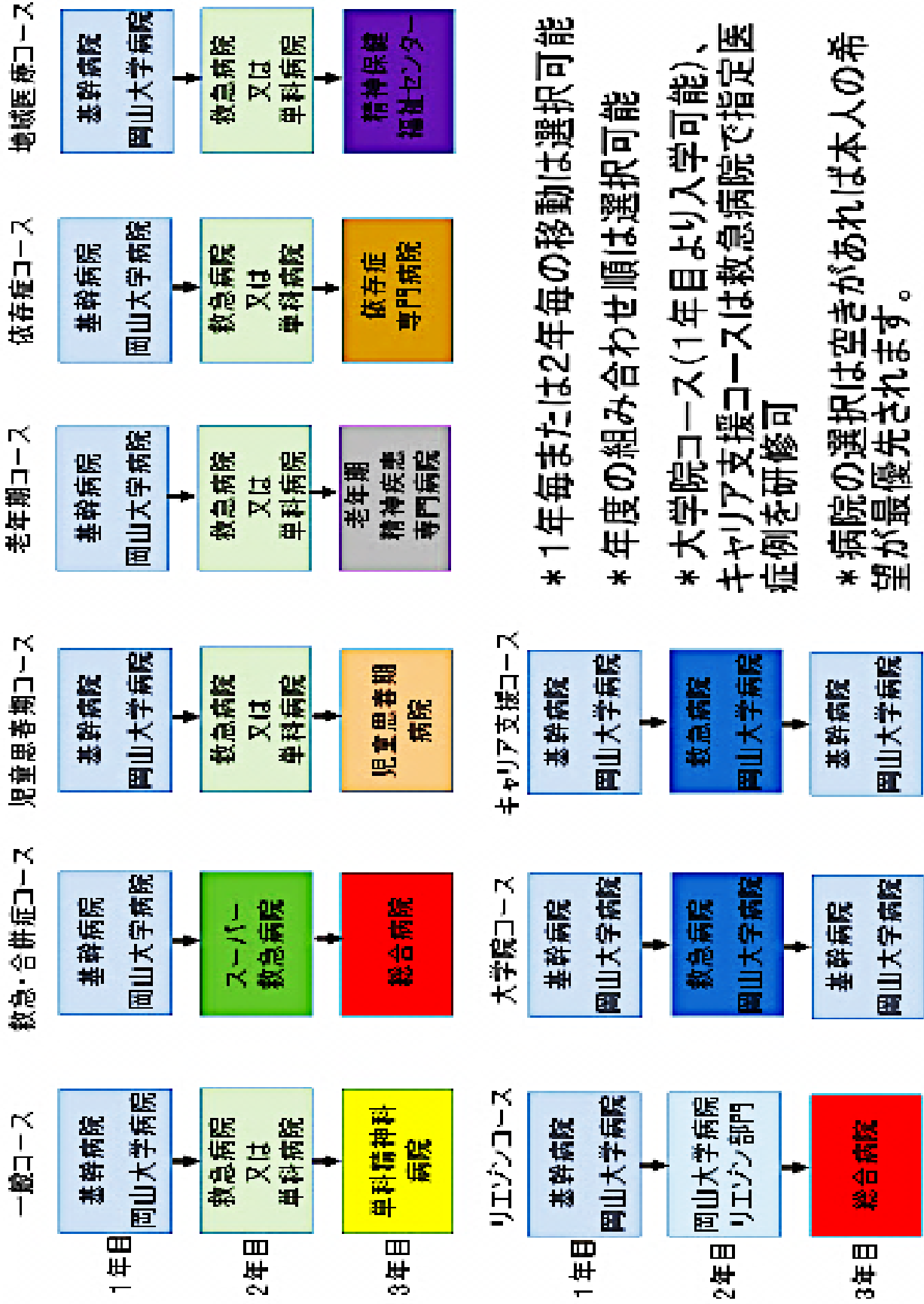
これ以外にも内容は多岐にわたり、精神科全般の疾患を経験することができます。

チーム医療として、上級医、主治医、研修医、6年生の4人でチーム構成しカンファレンスを行いながら、患者さんの治療に当たります。

当院には、育児や介護により常勤勤務が難しい方のために「キャリア支援制度」があります。当直の免除、勤務時間の調整もご相談に乗ることができます。また、院内保育園（なかよし園）があり、病児保育の利用も可能です。当科の入局者の約1/3が女性医師で、男性医師も育児や家事に関わることを積極的に行っていますので、女性医師の就労に職場全体で理解があり、サポートを受けやすい職場であると思います。

#### 4、応募にあたっての連絡事項

見学も随時歓迎いたします。お気軽にご連絡下さい。



- \* 1年毎または2年毎の移動は選択可能
- \* 年度の組み合わせ順は選択可能
- \* 大学院コース(1年目より入学可能)、キャリア支援コースは救急病院で指定医症例を研修可
- \* 病院の選択は空きがあれば本人の希望が最優先されます。

#### 臨床研究施設

岡山大学病院、岡山県精神科医療センター、慈圭病院、きのこエスポアール病院など

#### 総合病院

岡山大学病院、広島市民病院、岡山赤十字病院、岡山済生会病院、岡山労災病院、倉敷中央病院、福山市民病院

#### 救急病院（スーパー救急病棟）

岡山県精神科医療センター、慈圭病院、高岡病院

#### 児童思春期病院

岡山県精神科医療センター、まな星クリニック、広島市こども療育センター、旭川荘療育医療センターなど

#### 老年期精神疾患専門病院

慈圭病院、岡山赤十字病院、きのこエスポアール病院、積善病院、こころの医療たいよの丘ホスピタル、十全第二病院、河田病院、岡山ひだまりの里病院など

#### 依存症専門病院

岡山県精神科医療センター、希望ヶ丘ホスピタル、林道倫精神科神経科病院

#### 地域在宅医療

岡山県精神保健福祉センター、岡山市こころの健康センター

#### 単科精神科病院

岡山県精神科医療センター、慈圭病院、高岡病院、こころの医療たいよの丘ホスピタル、積善病院、十全第二病院、河田病院、希望ヶ丘ホスピタル、山陽病院、林道倫精神科神経科病院、万成病院、岡南病院、まきび病院、ももの里病院、由良病院、赤穂仁泉病院、魚橋病院、千鳥ヶ丘病院、福山こころの病院、福山友愛病院、府中市立湯が丘病院、三船病院、西紋病院

## 専門研修プログラムの特徴

岡山大学精神科は講座開設以来 120 年を超える歴史と伝統をもち、臨床から研究に至る幅広い領域において精神医学の発展に大きな功績を残してきた。現在も多くの教室員、出身者が日本の精神医療を牽引する存在として、幅広い領域で活躍している。基幹病院となる岡山大学の精神科は、28 床と小規模ながら、20 名の常勤医師、11 名の指導医、7 対 1 看護の十分な看護のマンパワーを有する病棟である。個室 22 床、閉鎖病棟 14 床、最新の隔離室 2 床、身体合併症に対応できる個室も 6 床ある。元々 50 床であったスペースに 28 床としているため全体にゆったりしたスペースを確保している。症例は、難治例を含む精神病圏・気分障害圏症例、身体合併症症例、器質性精神障害、摂食障害など含め、ほぼ全てのケースに対応している。専攻医は教官・指導医の指導の下で入院患者の主治医となり、看護、心理、リハビリテーションの各領域で構成したチームの一員となる。各種精神疾患に対し生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気療法などを柔軟に選択した最善の治療を行っていく。研修の過程でほとんどの精神疾患、治療についての基礎的な知識を身につけることが可能である。

当プログラムで連携する病院群は都市部から中山間地域に広汎に及ぶが、各病院間とは従前より密接な顔の見える連携関係にあることから、研修における連携も容易である。経験できる領域の特色は下記の通りである。

1. 大規模総合病院でのリエゾン・緩和ケアと合併症医療
2. スーパー救急病棟を併せ持つ精神科救急病院での救急診療
3. 認知症疾患医療センターや認知症専門病院での診療とケア
4. 児童思春期専門施設での診療
5. 依存症専門病棟を持つ病院での診療
6. 医療観察法病棟での司法精神医学の経験
7. 精神保健行政機関などでのアウトリーチの経験
8. 中山間部を含む多様なエリアでの地域包括ケア、特にチームによる診療

専攻医はこれらの施設をローテートしながら研鑽を積み、精神科専門医だけでなく精神保健指定医資格も取得することを目標とする。

基幹病院を中心に、臨床研究を行える病院が多数あり、将来、日本や世界の精神医学研究をリードする人材育成も目指していく。とくに岡山大学病院は臨床研究中各病院や橋渡し研究加速ネットワーク中核施設でもあり、高次元の研究に触れる機会も持つことも可能である。

一方、育児や介護など医師としての研修と家事の両立を支援するシステム（キャリア支援枠）が、岡山大学病院では充実しており、すでに利用している医師も多い。これを利用して、子育て中の専攻医などを支援していくことが可能である。

精神医学は、極めて幅広い領域を包含しており、治療的方法論も生物学的、心理学的、社会的とさまざまな側面がある。広い精神科領域を学び、多様な患者さんのニーズに応えるためには、指導医が広い視野で物を眺めることができること、多様な治療者の存在をお互いに尊重し、認め合う環境があることが必須である。この多様性は伝統的に岡山大学精神科の特徴であり、様々な志向を持った専攻医の関心に応えることができるものである。